



APPI

(小此木)

名画の扉

大川美術館企画展から

文化・芸術

亀倉雄策（1915～97年）

「安比高原」
1996年、
オフセット印刷・紙

亀倉のスキーハンターは愛好家の中では有名なことでした。スキーに関連したデザインも数多く手がけています。「スキー」というのは、自分で高スピードを出し、滑降と回転を楽しむことのできる唯一つのスポーツ」とい、80歳を超えてなお、国内外のスキー場に通い続けました。亡くなる2カ月前、その最後のスキーとなつたのが、1981年から通い続けた岩手県安比高原です。

亀倉にとって安比高原での仕事は、単なるスキー・リゾート開発にとどまるものではありませんでした。ポスター・デザインはもちろんのこと、各種サインやゴンドラ、ゲレンデのコース・デザイン、さらにレストランのメニュー、併設されたホテルの総合監修者としてアメニティーグッズにいたるまでアートディレクションしました。自身の思いがく都市計画や景観づくりの理想形をこの安比高原スキー場において具現化し続けたのです。